

表1 学習・教育到達目標と知識・能力観点(a)～(i)との対応

各学習・教育到達目標〔(A)、(B)、(C)---〕が基準1.2の知識・能力観点〔(a)～(i)〕を主体的に含んでいる場合には◎印を、付随的に含んでいる場合には○印を記入する。

知識・能力 観点 学習・教育 到達目標	(a)	(b)	(c)	(d)				(e)	(f)	(g)	(h)	(i)
				(1)	(2)	(3)	(4)					
(A)	◎	◎	○	○	○				○			
(B)			◎	○	◎			○		○	○	
(C)		○	○			◎	○	◎	○	○	◎	◎
(D)								○	◎	◎	○	
(E)	○	○				○	◎	◎		○	◎	◎

- (A) 食料、環境、エネルギーの利用と資源循環に根ざした21世紀型食料生産活動である農業とその基盤となる農村を対象とする教育・研究を通じて、豊かな人間性を涵養する。
- (B) フィールドを基盤とする地域環境工学の立場から、主に工学的な手法を用いて、自然環境と調和した農業・農村環境を計画・設計・施工・管理・保全するための基礎的な能力を習得する。
- (C) 持続的で安定した食料生産、安全で快適な農村生活、地域社会の活性化、豊かな自然環境の保全を実現する際の諸問題に対して、幅広い視野から情報を分析して処理する専門技術的な能力を育成する。
- (D) 技術者として自主的かつ継続的に技術力を研鑽できる学習能力および論理的な記述、発表、討議等に関するコミュニケーション能力を育成する。
- (E) 地域環境工学に関連する基礎学力と専門知識を駆使しながら、農業、農村、地域社会における諸問題に対して計画的に取り組み、得られた成果を的確に取りまとめる実践的な能力を育成する。

- (a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
- (b) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者の社会に対する貢献と責任に関する理解
- (c) 数学、自然科学及び情報技術に関する知識とそれらを応用する能力
- (d) 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力
- (e) 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
- (f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力
- (g) 自主的、継続的に学習する能力
- (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力
- (i) チームで仕事をするための能力

(d)の(1)：生産環境工学コースに共通する専門基礎科目群

(d)の(2)：地域環境工学を構成する必修要素的な専門基礎科目群

(d)の(3)：地域環境工学特有の専門科目群

(d)の(4)：問題の発見と解決に応用できる能力を修得するための専門科目群